

中部歴史まちづくりサミット共同宣言

歴史的文化的資産は、日本国民共有の資産であるとともに、その保存・継承・再生を通じて、我が国固有の文化力の向上、郷土意識の醸成、地域の活性化等に大きく貢献するものです。

私たち五市一町は、歴史的文化的資産を活用した歴史まちづくりが、まちづくりの中で最も重要なテーマの一つであることを認識しつつ、常日頃から地域住民と協働し、歴史的文化的資産という原石を見出し、磨き上げ、積み上げ、歴史まちづくりの礎としてきました。

こうした歴史まちづくりの取組を一層推進するためには、中部地方の内外にわたる広域的な連携・協力関係を築きつつ、各主体が力を合わせ、積極的な情報発信を行っていく必要があります。

本日、ここ魅力ある歴史的文化的資産の溢れる高山において、歴史まちづくりに取り組む自治体の長が集い、歴史まちづくりによる地域活性化の今後の展望について意見を交換することにより、中部地方における優れた歴史まちづくりの取組について全国へ強力に情報発信するとともに、地域の連携・協力が果たす新たな地域活性化の可能性を確認することができました。

私たちは、今後、中部地方にとどまらない、周辺地域を含めた更なる連携・協力により、歴史まちづくりの取組を拡がりをもって推進し、それぞれの地域を活性化することはもちろんのこと、全国における歴史まちづくりの旗振り役となり、我が国の豊かで魅力あるまちづくりをリードしていくことを、ここに宣言します。

平成 24 年 10 月 11 日

中部歴史まちづくりサミット参加者一同
(高山市、亀山市、犬山市、
恵那市、美濃市、明和町)